

平成19年度

「基礎・基本」定着度調査結果

各教科の傾向

(小学校)

平成20年3月

鹿児島県教育委員会

目 次

国語	1
社会	6
算数	12
理科	18

本資料の活用にあたって

「基礎・基本」定着度調査は、児童生徒の基礎・基本の定着のため、客観的なデータに基づく定着度の把握及び指導法改善をねらいとしています。各学校では、調査直後から、自校の結果を踏まえた補充指導や次年度の指導計画の見直し等の取組が行われていると思いますが、県下の調査結果の傾向を分析、改善の視点をまとめた本資料を活用し、指導法改善に役立ててください。本資料は、学年、教科ごとに次のような構成になっています。

1 通過率

「教科全体」、「内容・領域」「観点別」ごとの通過率について、これまでの調査結果と比較しながら、今年度の定着度の全体的な傾向を示しています。

2 通過率が低い問題

(※ 該当問題で、分析と改善策を示します。)

今回の調査結果で、特に通過率が低かった問題です。問題を提示しながら、誤答傾向から原因を分析し、改善策を示しています。児童生徒の基礎学力の向上のために、今後、早急な指導法改善が求められるところです。

3 特に定着を図りたい問題

(※ 該当問題で、ねらいと重点を示します。)

本調査で扱っている基礎・基本において、中心的な内容、領域として、これまでの調査で繰り返し出題したり、重点的に出題したりしている問題です。定着度が高まってきている傾向がある一方で、あまり現状が変わらない様子も見られます。指導計画等で重点化を図り、一層の指導法改善を進める必要があります。